



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi



山梨経済同友会

Yamanashi Association of Corporate Executives

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター／山梨経済同友会
共同記者発表

中部横断自動車道（新清水－増穂間）開通 による整備効果分析 ～中部横断自動車道を賢く使う～

国立大学法人 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 准教授 武藤慎一
山梨経済同友会 代表幹事 入倉 要

日 時：令和元年11月8日（金）13:00～14:00

場 所：山梨大学甲府キャンパス T1号館804号室（会議室）

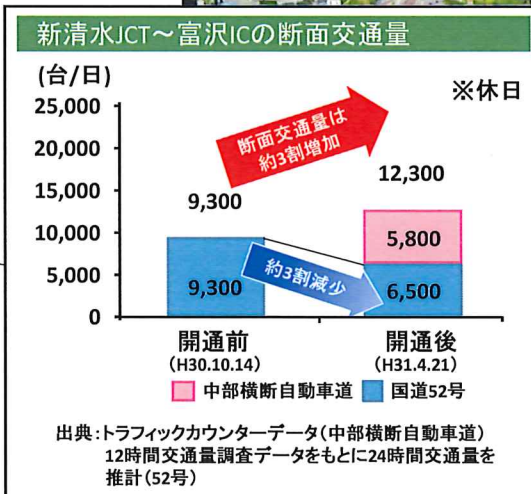


2020年内
開通予定

2019年
11月17日(日)
15時00分開通

2019年3月開通

国土交通省 甲府河川国道事務所 ホームページ

[illegible][illegible]

これらの経済効果を計測

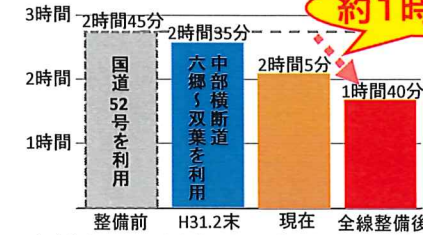
経済波及効果

中部横断
自動車道開通

交通所要時間短縮

運輸企業の
生産性向上

■ 山梨県～静岡県（県庁間）の所要時間



※高速道路:80km/h、中部横断自動車道:70km/h、一般道路:40km/hで算出
※中部横断自動車道(双葉JCT～新清水JCT)を利用しない設定で算出

企業の効果

輸送費用の低下

← 物流・業務交通の活性化

農産品・製造品の
生産※増加

サービス系企業
の生産※増加

付加価値※の増加

県内総生産(地域版GDP)
の増大

移動時間費用節約

← 観光の活性化

家計(土産等)需要
の増加

商業・宿泊・飲食
サービス需要の増加

家計所得の増加

家計の実質所得増加(便益の発生)

【付加価値増加+利用可能時間所得増加】

家計の効果

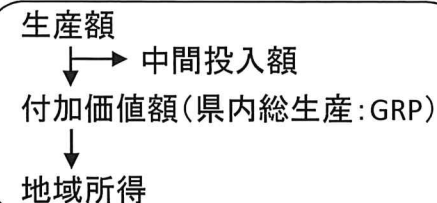
時間短縮効果

※生産額
= 中間投入額 + 付加価値額

中間投入

地域所得
増大効果

生産および観光データ【現状】



山梨・静岡・長野の生産額比較

	山梨県		静岡県		長野県	
	生産額 (億円/年)	構成比	生産額 (億円/年)	構成比	生産額 (億円/年)	構成比
第一次産業	974	1.6%	2,707	0.9%	3,128	2.1%
第二次産業	25,691	42.1%	151,567	49.4%	59,952	39.6%
第三次産業	34,295	56.3%	152,837	49.8%	88,476	58.4%
計	60,960		307,112		151,556	

山梨・静岡・長野の県内総生産比較

山梨県			静岡県			長野県		
県内総生産 (億円/年)	構成比	GRP 生産額	県内総生産 (億円/年)	構成比	GRP 生産額	県内総生産 (億円/年)	構成比	GRP 生産額
538	1.7%	0.552	1,376	0.9%	0.508	1,670	2.1%	0.534
9,195	29.4%	0.358	48,844	33.5%	0.322	20,632	26.5%	0.344
21,594	68.9%	0.630	95,476	65.5%	0.625	55,626	71.4%	0.629
31,327			145,696			77,928		

※平成23年(2011年)各県産業連関表のデータより作成

第二次、第三次産業の占める割合が高い。
第二次産業は2.6兆円/年、
第三次産業は3.4兆円/年の生産規模。

第三次産業の占める割合がより高くなる。
GRP/生産額比は第三次産業が高く、第二次産業は低い。
山梨のGRPは3.1兆円/年

山梨・静岡・長野の観光データ比較

	県内			県外			
	宿泊	日帰り	宿泊割合	宿泊	日帰り	宿泊割合	県外計
観光入込客数(万人回/年)※実数							
山梨県	61	611	9.0%	514	1,530	25.1%	2,044
静岡県	278	3,250	7.9%	1,025	2,067	33.2%	3,092
長野県	190	851	18.2%	861	1,485	36.7%	2,346

※実人数: 観光客が複数地点を訪れた場合、1人回として数えた観光入込客数。

※延べ人数: 観光地点ごとの観光入込客の総数。

県内			県外			
宿泊	日帰り	宿泊比	宿泊	日帰り	宿泊比	県外計
観光消費額(億円/年)						
113	394		1,287	1,666		2,953
458	1,609		2,253	2,251		4,504
527	817		3,037	1,786		4,824
一人あたり観光消費額(円/人回・年)						
18,668	6,445	2.9倍	25,054	10,887	2.3倍	
16,450	4,950	3.3倍	21,974	10,891	2倍	
27,747	9,601	2.9倍	35,278	12,030	2.9倍	

※平成28年(2016年)観光入込客データ

山梨に来る県外観光客数は、相対的に少ない。
山梨の県外宿泊者割合も低い。

山梨での観光消費額も、静岡、長野と比べ少ない。
長野の一人あたり観光消費額が突出して多い。

生産データの詳細

山梨・静岡・長野の第二次詳細生産額比較

	山梨県		静岡県		長野県	
	生産額 (億円/年)	構成比	生産額 (億円/年)	構成比	生産額 (億円/年)	構成比
飲食料品	2,852	13.3%	24,606	17.8%	8,332	16.1%
化学製品	1,073	5.0%	10,840	7.8%	2,073	4.0%
はん用機械	592	2.7%	3,945	2.9%	2,244	4.3%
生産用機械	4,524	21.0%	6,125	4.4%	4,348	8.4%
業務用機械	761	3.5%	3,268	2.4%	2,505	4.8%
電子部品	2,759	12.8%	1,860	1.3%	7,163	13.8%
電気機械	3,302	15.3%	13,908	10.1%	3,130	6.0%
情報・通信機器	473	2.2%	3,880	2.8%	3,739	7.2%
輸送機械	858	4.0%	37,086	26.8%	5,265	10.2%
その他製造	4,325	20.1%	32,870	23.8%	13,049	25.2%
計	21,519		138,387		51,848	

山梨・静岡・長野の第三次詳細産出額比較

	山梨県		静岡県		長野県	
	生産額 (億円/年)	構成比	生産額 (億円/年)	構成比	生産額 (億円/年)	構成比
電力・ガス・水道	1,357	4.0%	6,508	4.3%	4,569	5.2%
商業	4,592	13.4%	21,831	14.3%	13,019	14.7%
金融・保険	2,425	7.1%	10,267	6.7%	4,618	5.2%
不動産	4,648	13.6%	16,456	10.8%	11,292	12.8%
運輸・郵便	2,581	7.5%	18,657	12.2%	5,544	6.3%
情報通信	1,834	5.3%	7,009	4.6%	5,005	5.7%
公共サービス	10,006	29.2%	38,184	25.0%	24,122	27.3%
業務サービス	3,196	9.3%	18,121	11.9%	10,759	12.2%
宿泊・飲食サービス	3,655	10.7%	15,803	10.3%	9,548	10.8%
計	34,295		152,837		88,476	

※平成23年(2011年)各県産業連関表のデータより作成

【参考】産業部門

飲食料品	食肉 畜産食料品 水産食料品 精穀・製粉 めん・パン・菓子類 農産保存食料品 砂糖・油脂・調味料類 その他の食料品 酒類 その他の飲料 飼料・有機質肥料(別掲を除く。) たばこ	塗料・印刷インキ 写真感光材料 農薬 その他の化学最終製品	医療用機械器具 光学機械・レンズ 武器	商業	卸売 小売
繊維製品		石油・石炭製品 プラスチック・ゴム 窯業・土石製品 鉄鋼 非鉄金属 金属製品	電子部品	金融・保険	
パルプ・紙・木製品		はん用機械	電子デバイス	不動産	不動産仲介及び賃貸 住宅賃貸料 住宅賃貸料(帰属家賃)
化学製品	化学肥料 ソーダ工業製品 その他の無機化学工業製品 石油化学基礎製品 脂肪族中間物・環式中間物 合成ゴム その他の有機化学工業製品 合成樹脂 化学繊維 医薬品 油脂加工製品・石けん・界面活性 剤・化粧品	生産用機械	電子管 半導体素子 集積回路 液晶パネル	運輸・郵便	
		業務用機械	その他の電子部品	情報通信	電気通信 放送 情報サービス インターネット附随サービス 映像・音声・文字情報制作
			電気機械	公務	
			民生用電気機器 電子応用装置 電気計測器 その他の電気機械	教育・研究	
			情報・通信機器	医療・福祉	
			民生用電子機器 通信機械 電子計算機・同附属装置	対事業所サービス	物品賃貸業 貸自動車業 広告 機械修理 法務・財務・会計サービス 労働者派遣サービス 警備業
			輸送機械	対個人サービス	宿泊業 飲食サービス 洗濯・理容・美容・浴場業 娯楽サービス
			乗用車 トラック・バス・その他の自動車 二輪自動車 自動車部品・同附属品 船舶・同修理 鉄道車両・同修理 航空機・同修理 その他の輸送機械		

貨物・旅客交通量変化

空間的応用一般均衡(SCGE)モデルを使用。
2011年の産業連関表データ、地域間貨物、
旅客流動データ等を用いて計算。

貨物交通量変化

横断道開通により32.4%増加

横断道開通により40.4%増加

0.3%增

0.2%減

横断道開通により30.8%増加

旅客交通量变化

0.04%減

横断道開通により34.0%増加

山梨発
の交通
の2.7%
が静岡へ

現況の目的地選択率:

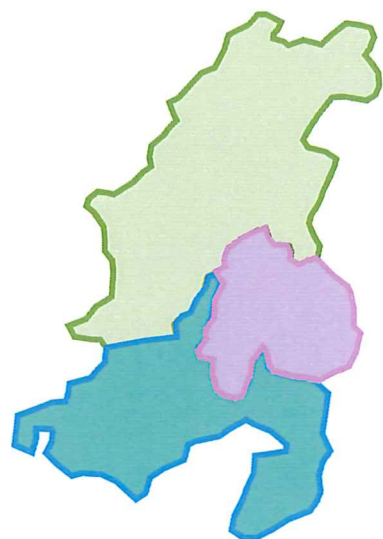
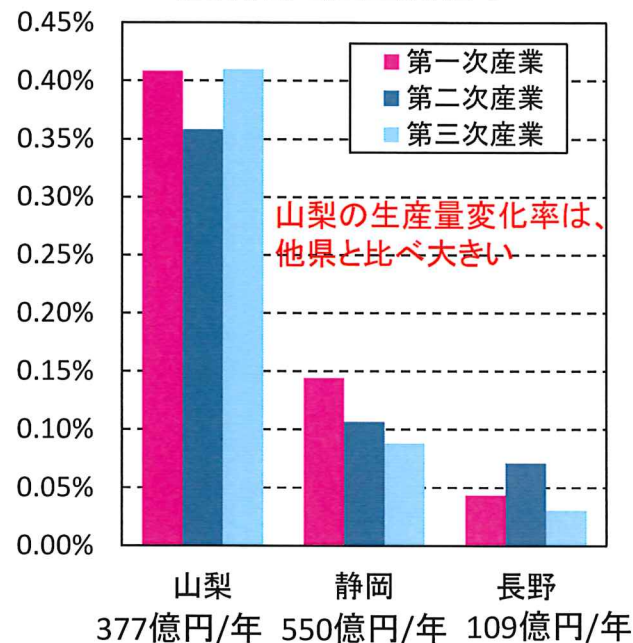
山梨→静岡(貨物:4.0%、旅客:2.7%)は高く、
静岡→山梨(貨物:0.7%、旅客:0.6%)は低い。

横断道開通により、

山梨→静岡(貨物:30.8%増、旅客:34.0%増)、
静岡→山梨(貨物:32.4%増、旅客:40.4%増)
である。

生産量変化

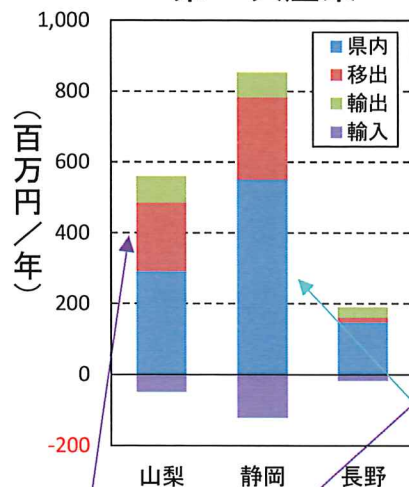
産業別生産量変化率



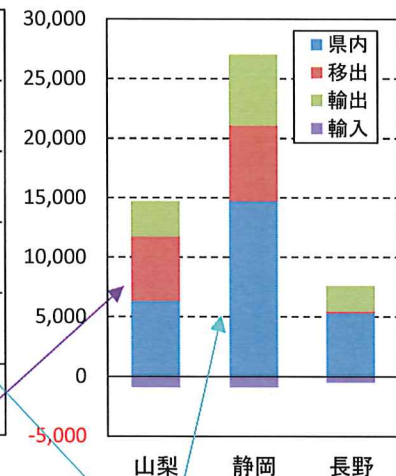
生産量変化の内訳

(生産量 = 県内需要 + 移出 + 輸出 - 輸入)

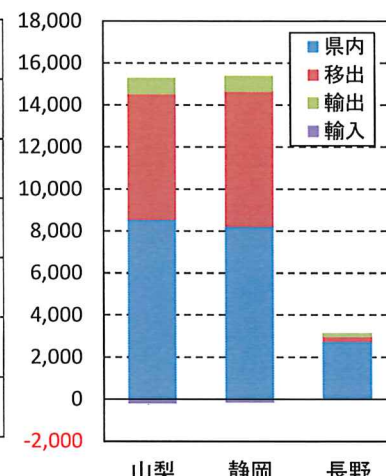
第一次産業



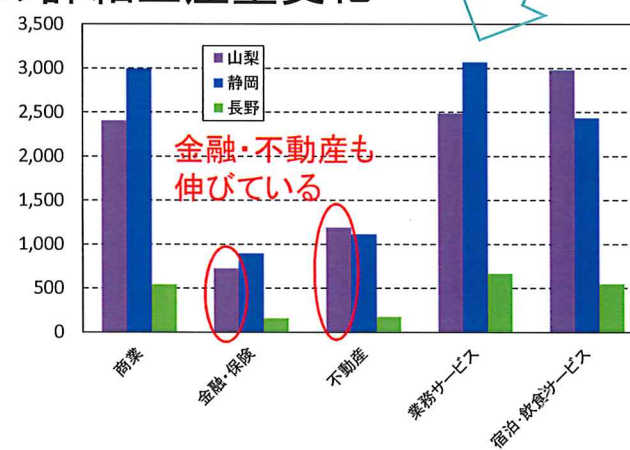
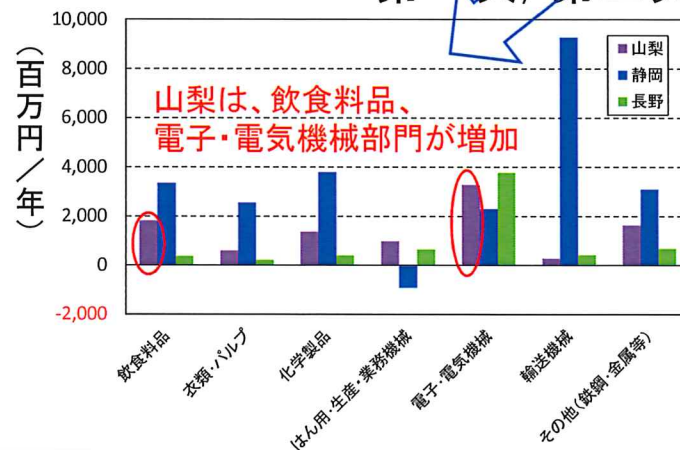
第二次産業



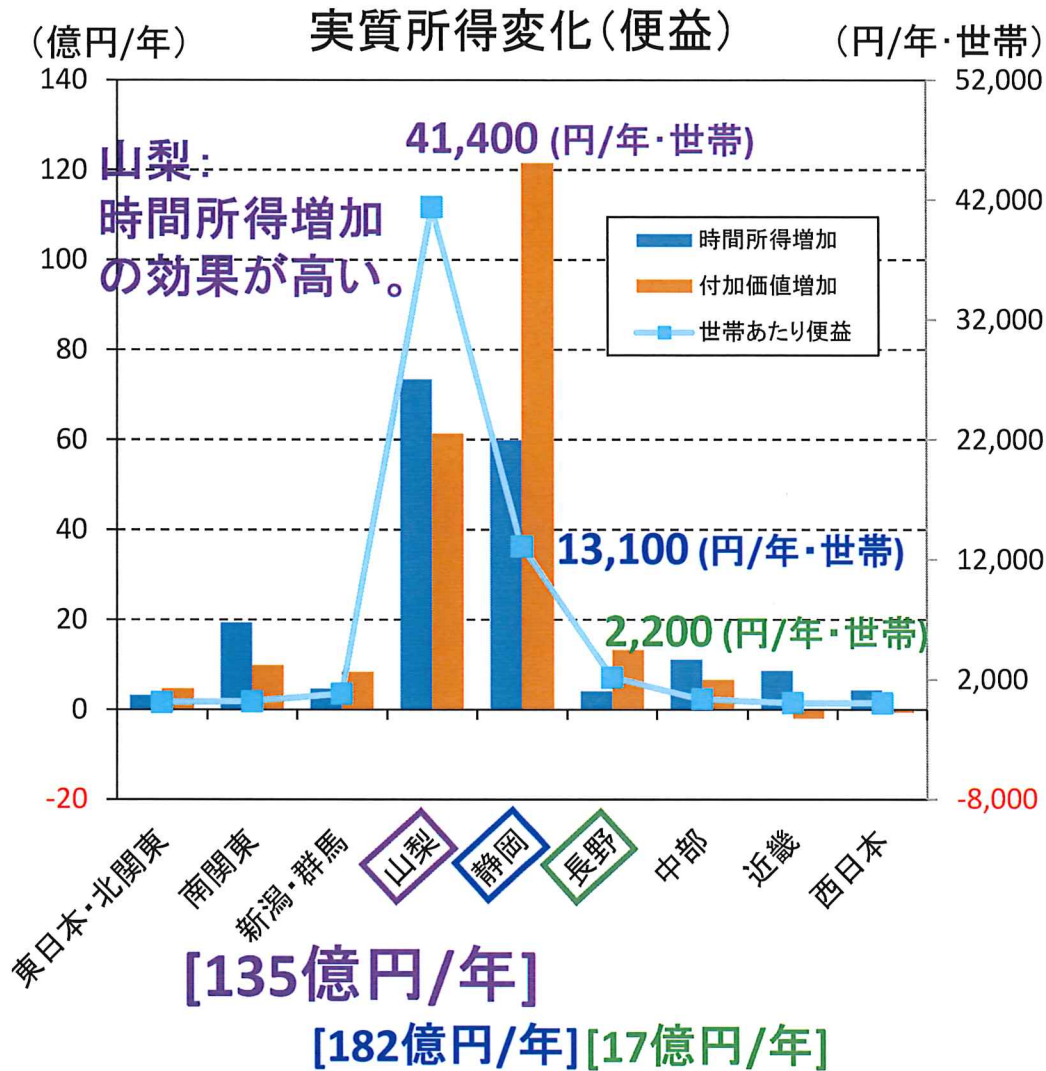
第三次産業



第二次, 第三次の詳細生産量変化



実質所得変化(便益)



山梨県内総生産(2016): 3.37(兆円/年)
⇒中横断道による所得増加額割合: 0.40%

最終費用便益分析結果

総便益: 8,850億円
(単年度: 412億円/年)

総費用: 6,345億円

費用便益比 1.395

山梨県への経済効果は、世帯あたりでみると、他県と比べて大きい。

山梨県への経済効果は、年間135億円。GRPを0.40%上昇させる効果。

全国の経済効果の総額は、8,850億円。

山梨県は、付加価値増より時間所得増の効果が大きい。
企業生産への効果を高めることが課題。